



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月14日

上場会社名 株式会社ダイオーズ 上場取引所 東
 コード番号 4653 URL http://www.daiohs.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大久保 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 稲垣 賢一 TEL 03-3438-5511
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	22,226	16.5	1,227	3.3	1,226	1.5	740	△1.5
29年3月期第3四半期	19,072	0.7	1,188	△10.7	1,208	△9.6	751	△9.0

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 786百万円 (△17.2%) 29年3月期第3四半期 949百万円 (12.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	55.12	—
29年3月期第3四半期	55.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	18,487	12,491	67.6	929.46
29年3月期	16,230	11,973	73.8	890.95

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 12,491百万円 29年3月期 11,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 5円00銭

平成30年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 9円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,731	6.4	1,994	24.0	1,943	19.9	1,185	14.6	88.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	13,439,142株	29年3月期	13,439,142株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	40株	29年3月期	40株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	13,439,102株	29年3月期3Q	13,439,102株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

① 国内部門

当第3四半期における国内部門ダイオーズ ジャパンの業績は期初から現在に至るまで順調に推移しております。

売上高については、新規顧客の獲得が期初の計画値を大きく上回り、また、既存顧客の解約も減少傾向にあることから当期終了段階においては期初の予測に対して3%の上振れで推移しております。BtoBに特化し、「反復継続サービス」を提供している当社において、持続的に売上を伸ばす為には解約金額以上の新規契約金額の獲得を継続させる事が不可欠です。その為にはお客様から高い評価をいただけるルートサービスの提供と、魅力あるサービスや商品をタイムリーにご案内させていただく体制が整っていなければなりません。

ダイオーズ ジャパンでは長期政策として7期前から従来の政策方針を抜本的に見直し、個の力による営業体制から仕組みによる組織化された営業体制に変革をまいりました。現段階においては目指すべき体制と組織がほぼ完成域に到達しており、これが毎期順調に前年を超える実績の実現につながっております。今後も社会情勢に大きな変化が起きない限りはこの勢いを継続できるものと考えております。

一方、営業利益面においては、例年同様に新規顧客の獲得が期初の計画を上回る実績で推移している為、機器類購入費が計画値を大きく上回っておりますが、「拠点運営の標準化」や「管理業務の集中化」を促進させた事によって前年同四半期以上の営業利益を確保しました。また、新規顧客の獲得については現在の勢いから引き続き計画値を上回る傾向である為、それに比例して機器購入費用も計画値を上回る予測をしておりますが、この事は将来の利益確保の為の先行投資として、今後も積極的に投資を継続させて行く方針です。

以上の結果、第3四半期連結累計期間の売上高は90億98百万円、対前年同期比110.9%となり、同四半期における7期連続の増収、営業利益においても7億51百万円、対前年同期比で101.3%と4期連続の増益となり、売上高、営業利益、共に同四半期における過去最高を更新しました。また、この傾向は最終四半期も継続する予測となっております。

② 米国部門

米国部門の連結子会社Daiohs U. S. A., Inc.においては、米国のマクロ景気は金融緩和による影響もあって堅実な状況が続いております。全米平均失業率も当第3四半期連結累計期間末時点で4.1%と米国では完全雇用とされる水準の5.0%を大きく下回り、リーマンショック直前の2007年5月に記録した4.4%よりも低い数値となりました。全米規模で人手不足が顕著になってきており、マクロ景気状況は良好です。

そのような環境下、当社米国部門では2024年3月期までに全米展開の概ね完成と年商2億5千万ドル到達の長期目標を掲げており、当期は従来型のオフィスコーヒャーサービス(OCS)事業に加え、拡大版OCS事業のノウハウ取り込みと事業モデル整備に着手いたしました。

その第一歩として、6月にワシントン州シアトル市を本社とするBlue Tiger Coffee Inc.を買収し、Daiohs U. S. A. Inc.の子会社といたしました。Blue Tiger社は従来のOCSにプレミアム感を充実させ、賞味期間が短い商品も幅広く揃えて提供するもので、ハイテクや金融業界を始めとしたホワイトカラー人材の獲得競争が激しい業界では比較的安価な従業員福利厚生として強い需要が見られるものです。

その他の既存拠点でも、モデル売上未到達拠点を中心に営業人員を増強して売上伸長を図った結果、売上高はドルベースでは16.6%増となり、第3四半期連結累計期間の売上高は円換算で131億32百万円(前年同四半期比20.8%増)となりました。

一方、利益面では既存のOCS事業が増益となったものの、子会社化したBlue Tiger社の「顧客関連資産」の償却費用の発生から、営業利益は5億57百万円(前年同四半期比4.0%増、ドルベースでは0.3%増)の増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は222億26百万円(前年同四半期比16.5%増)、売上総利益は126億89百万円(前年同四半期比16.5%増)、営業利益は12億27百万円(前年同四半期比3.3%増)、経常利益は12億26百万円(前年同四半期比1.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億40百万円(前年同四半期比1.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は184億87百万円で、前連結会計年度末比22億57百万円増加となりました。

流動資産は82億27百万円で、前連結会計年度比4億85百万円増加となりました。これは主に「売掛金」が3億21百万円、「商品及び製品」が1億93百万円増加したことによるものです。固定資産は102億59百万円で、前連結会計年度末比17億71百万円増加となりました。これは主に「工具、器具及び備品」が3億90百万円、「顧客関連資産」が12億13百万円、「土地」が1億12百万円増加したことによるものです。

負債合計は59億96百万円で、前連結会計年度末比17億39百万円増加となりました。これは主に「短期借入金」が2億20百万円減少した一方で、「長期借入金」が15億16百万円、「1年内返済予定の長期借入金」が4億60百万円増加したことによるものです。

純資産合計は124億91百万円で、前連結会計年度末比5億17百万円増加となりました。これは主に「利益剰余金」が4億71百万円、「為替換算調整勘定」が45百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日に公表しました平成30年3月期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,031,528	2,938,459
売掛金	2,780,491	3,101,784
リース投資資産	325,225	319,945
商品及び製品	1,062,755	1,255,936
仕掛品	4,321	3,964
原材料及び貯蔵品	121,190	115,234
繰延税金資産	122,958	171,401
その他	314,893	346,231
貸倒引当金	△21,076	△25,054
流動資産合計	7,742,289	8,227,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	379,644	404,345
機械装置及び運搬具(純額)	490,441	587,562
工具、器具及び備品(純額)	2,232,547	2,623,540
レンタル資産(純額)	1,386,275	1,496,006
土地	646,027	758,456
建設仮勘定	38,802	38,080
有形固定資産合計	5,173,739	5,907,992
無形固定資産		
のれん	121,491	72,452
顧客関連資産	2,441,634	3,654,769
その他	53,174	69,380
無形固定資産合計	2,616,300	3,796,602
投資その他の資産		
投資有価証券	212,836	214,265
繰延税金資産	92,085	1,854
その他	412,922	358,608
投資損失引当金	△19,391	△19,391
投資その他の資産合計	698,452	555,335
固定資産合計	8,488,492	10,259,931
資産合計	16,230,782	18,487,835

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	554,070	630,339
短期借入金	1,035,330	815,000
1年内返済予定の長期借入金	242,330	703,150
未払法人税等	142,726	50,361
未払費用	425,388	457,260
賞与引当金	207,180	128,499
その他	813,297	785,221
流動負債合計	3,420,323	3,569,832
固定負債		
長期借入金	540,568	2,057,450
繰延税金負債	60,285	110,588
資産除去債務	36,917	37,448
その他	199,108	221,357
固定負債合計	836,880	2,426,845
負債合計	4,257,203	5,996,677
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,135	1,051,135
資本剰余金	1,129,434	1,129,434
利益剰余金	9,454,723	9,926,695
自己株式	△46	△46
株主資本合計	11,635,246	12,107,218
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,362	6,686
為替換算調整勘定	331,968	377,253
その他の包括利益累計額合計	338,331	383,939
純資産合計	11,973,578	12,491,158
負債純資産合計	16,230,782	18,487,835

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	19,072,350	22,226,851
売上原価	8,179,159	9,537,424
売上総利益	10,893,191	12,689,426
販売費及び一般管理費	9,704,817	11,462,188
営業利益	1,188,374	1,227,237
営業外収益		
受取利息	2,333	432
受取配当金	10,654	12,688
仕入割引	14,468	12,462
持分法による投資利益	—	4,402
為替差益	15,412	3,227
債務勘定整理益	5,011	12,166
その他	14,859	12,617
営業外収益合計	62,738	57,997
営業外費用		
支払利息	25,766	56,308
持分法による投資損失	16,098	—
その他	539	2,418
営業外費用合計	42,404	58,727
経常利益	1,208,708	1,226,508
特別利益		
固定資産売却益	7,491	6,230
特別利益合計	7,491	6,230
特別損失		
固定資産売却損	225	33
固定資産除却損	406	6,439
貸倒引当金繰入額	43,152	—
特別損失合計	43,783	6,472
税金等調整前四半期純利益	1,172,415	1,226,265
法人税、住民税及び事業税	434,691	393,290
法人税等調整額	△13,997	92,221
法人税等合計	420,694	485,512
四半期純利益	751,721	740,753
親会社株主に帰属する四半期純利益	751,721	740,753

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	751,721	740,753
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,632	323
為替換算調整勘定	204,664	45,076
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,049	208
その他の包括利益合計	198,247	45,608
四半期包括利益	949,968	786,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	949,968	786,361
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,196,834	10,873,992	19,070,826	1,524	19,072,350
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,177	—	10,177	△10,177	—
計	8,207,011	10,873,992	19,081,004	△8,653	19,072,350
セグメント利益	741,852	536,558	1,278,411	△90,037	1,188,374

(注) 1 調整額の内容は、以下のとおりであります。

売上高

(単位:千円)

非連結子会社からの利息収入等	1,524
連結消去	△10,177
合計	△8,653

セグメント利益

(単位:千円)

全社費用(注)	△381,454
連結消去	291,416
合計	△90,037

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の営業費用であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,089,110	13,132,325	22,221,436	5,414	22,226,851
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,615	—	9,615	△9,615	—
計	9,098,725	13,132,325	22,231,051	△4,200	22,226,851
セグメント利益	751,133	557,955	1,309,088	△81,851	1,227,237

(注) 1 調整額の内容は、以下のとおりであります。

売上高

(単位:千円)

非連結子会社からの利息収入等	5,414
連結消去	△9,615
合計	△4,200

セグメント利益

(単位:千円)

全社費用(注)	△385,843
連結消去	303,992
合計	△81,851

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の営業費用であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来より、純粋持株会社である当社を報告セグメントの「日本」に含めていましたが、日本国内の事業会社である株式会社ダイオーズ ジャパンの業績を明確にするため、第1四半期連結会計期間より「調整額」の区分に変更することとしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。